

鉄道ピクトリアル

2020年5月号 Vol.70 No.5 通巻No.972

〈特集〉DD51形ディーゼル機関車

■表 紙 末広橋梁を行く DD51 899 藪下茂樹

四日市港線 2010-12-10

■グラフ

遠ざかる咆哮（1～8ページ）

梶田俊幸・阿部一正・星 晃・伊藤 昭・小林 武

..... 浜村正弘・三ッ谷政久・伊藤俊郎・岡本文彦・関根敏男

富村哲男・佐藤利生・藤木正成・岡本忠士

マレーシア クアラルンプールのDD51（57～61ページ）...木村 忠吾

DD51 JR各社の活躍場面から（108～113ページ）

高橋和義・長瀬英豊・千葉恵一・渡邊裕太郎・川井一彦

..... 与野正樹・石原裕紀・金子 聰・千葉 守・赤座安彦

尾崎 渉・仮屋昭典・井上英樹・中川貴史・服部重敬

*

DD51形ディーゼル機関車のパラエティ 構成：編集部 36

DD51がいた頃 写真：福田静二・寺本光昭ほか 50

DD51改造の除雪用機関車 写真：日向 旭ほか 56

*

Pictorial Color Gallery 流鉄流山線5.7kmの旅 高橋 信行 105

*

JR四国キロ185 1867・1868「志国土佐 時代(トキ)の夜明けのものがたり」／JR東日本磐越西線快速「あいづ」用
721系指定席車／西武鉄道40000系ロングシート車／JR 東日本高輪ゲートウェイ駅を公開ほか 114～116

長崎電気軌道の話題 宮川 浩一 117

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) 118

歴史ある石炭輸送列車の廃止 大里 信之 126

連載・昭和の鉄景(第41回) 椎橋 俊之 128

■本文

今月の話題：DD51形ディーゼル機関車 編集部 9

DD51形ディーゼル機関車の技術 三品 勝暉 10

重連とはなんぞや 青田 隆道 26

最後の活躍を続けるJR貨物愛知機関区のDD51形を見る

..... 服部 朗宏 62

DD51 現在機の興味 (JR東日本・JR西日本編) 木村 忠吾 80

DD51形の運用表から(その1) 三宅 俊彦 140

〔DD51形 配置変遷表 作成：編集部 150〕

*

鉄道の話題 編集部 35

JR西日本105系SF005編成に関連した話題 西脇 浩二 98

JR東日本701系一般形交流電車の現況 盛岡車両センター

IGRいわて銀河鉄道・青い森鉄道(1) 日向 旭 100

書評(662)『都市鉄道の技術社会史』 三木 理史 129

近畿日本鉄道80000系「ひのとり」 垂水 健一 130

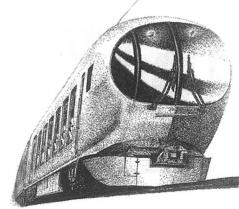
2月のメモ帳 176

読者短信・情報ファイル 177

後部車から 180

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今月の話題

DD51形ディーゼル機関車

わが国の内燃機関の技術開発は、特にその黎明期において諸外国に比べて大きく立ち遅れていたことは、本誌でもたびたび語られてきた。輸入品から機器の国産化を進めたディーゼル機関車の歴史過程ではその具体例が挙げられることも多いが、一方ではさまざまな事情の中で難題を克服し、その後の動力近代化、鉄道輸送の発展に繋がったことは忘れてはならない側面である。そうした内燃機関をめぐる技術開発の成果を物語る象徴的な存在のひとつが、本格的標準形ディーゼル機関車としての期待を担い1962(昭和37)年に試作の1次形が誕生したDD51形であり、開発の背景には鉄道の近代化を推進した時代の興味が見て取れる。機器の国産化とともに大形ディーゼル機関と液体変速機の開発によって登場したDD51形により大形ディーゼル機関車の時代が開幕したのであった。

第1号機によりDD51形は各部試験を行い、2次試作を経て1964(昭和39)年からは量産機が登場、北海道から九州まで各地に投入され、本線を行き交う優等列車から重量貨物まで多彩な列車を牽引し、非電化路線の無煙化など、輸送の改善の立役者として存在感を示した。増備は1978年3月落成の1805号機まで続革新製総数は649両に及んでいる。形態的には基本となる一般形に加え、いわゆる半重連形、重連時のブレーキ制御に改良を加えた全重連形、さらにSG付き、SG無しなど多様なタイプが見られるとともに、後年の諸改造も多く、車両趣味としても大変に魅力的な機関車といえる。国鉄からJRには259両が継承され活躍を続けたが、近年は急速に淘汰が進み、気がつけばJR貨物をはじめJR東日本、JR西日本にあわせて10数両が在籍するのみとなり、初登場から57年、その終焉も遠からずといった状況である。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan